

# SCIO

Socialization

IIndependence

Correction

Oorientation

関東矯正管区管内

少年矯正広報紙

スキオ

NO. **89**

## 特集

### 製品企画科におけるアパレル ブランドとの共同物品製作

— 愛光女子学園と株式会社シンゾーンのコラボレーションについて —

### コグトレの実践について

— 認知力・対人力・身体力の向上をめざして —

## コラム

### 健全な育成のための支援

— 新潟少年鑑別所オリジナル教材 —



むらさき匂うむさしのに希望の朝が明けてゆく

# 愛光女子学園



## 愛光女子学園の紹介

愛光女子学園は、関東・甲信越及び静岡の家庭裁判所で少年院送致の決定を受けた12歳（小学生は除く。）以上20歳未満の女子少年を収容し、矯正教育を行う施設です。

昭和24年に「武蔵野女子学園」の名称で、日本で最初の女子少年院の一つとして現在と同じ場所に開設され、その後まもなく「愛光女子学園」と改称されました。

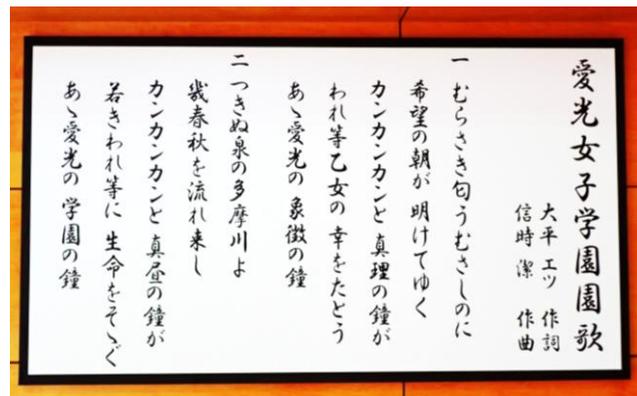
愛光女子学園の学園歌の冒頭部「むらさき匂うむさしのに希望の朝が明けてゆく…」という歌詞は、愛光女子学園が位置する東京都狛江市を含む武蔵野地域一帯が、かつてムラサキ草の産地であったことに由来しています。古くからその根は染料として用いられ、初夏に白く小さい上品な花を咲かせるムラサキ草ですが、現在では絶滅危惧種となり、自生のムラサキ草は非常に少なくなって

しまいました。

愛光女子学園の特徴は、ほかの多くの少年院と比較して敷地面積が狭く、住宅街に立地しているということです。周囲をマンション、一軒家、飲食店、公園、地域センター等に囲まれた4階建ての庁舎は、街並みに溶け込み、近くを通ってもそこが少年院であることに気が付かないかもしれません。



愛光女子学園案内図



愛光女子学園園歌

## ◆特集

# — 製品企画科におけるアパレルブランドとの 共同物品製作について —

## 少年院とアパレルブランドのコラボレーション

愛光女子学園では、集中して仕事を継続する力を身に付けることや作品を企画・立案し製品化する力を養うことを目的として、職業能力開発指導（製品企画科／クラフトコース）でレース編み製品の制作を行っています。

令和6年度から、アパレルブランドである株式会社シンゾーンと共同で「Woman's Fashion Education」という取組を開始し、愛光女子学園の在院者たちが手編みで制作したレースを用いたキッズ用ベースボールキャップ、ベビースタイ、そして一点物のオートクチュールドレスが商品化され、愛光女子学園と株式会社シンゾーンとの協働コレクションとして令和7年3月8日の国際女性デーに合わせて発表されました。

68枚ものクロッシェ・レースのモチーフを使用したドレス、レースがちりばめられたキャップやスタイには「LOVE」の文字が刺繍されています。「LOVE」には愛光女子学園の「愛」と在院者たちの未来への希望が込められています。



写真 端 裕人 (HIROTO HATA)



写真 端 裕人 (HIROTO HATA)

### ◆ これまでの取組 ◆

#### ◆ 令和5年11月

株式会社シンゾーン社長染谷裕之氏による初めての授業。在院者が作ったレース編みをあしらったトートバッグ等のサンプル品の紹介、コラボレーションについての説明。その後、商品のためのレースモチーフの制作を開始。

#### ◆ 令和6年9月

株式会社シンゾーンのデザイナー、バイヤー、マーケティング部の方々と在院者とのデザインワークショップを開催。

#### ◆ 令和7年3月

国際女性デーに協働コレクションを発表。

株式会社シンゾーンによる授業。完成した商品を在院者に披露。

# ◆特集 ーコグトレの実践についてー

## 認知力・対人力・身体力の向上をめざして

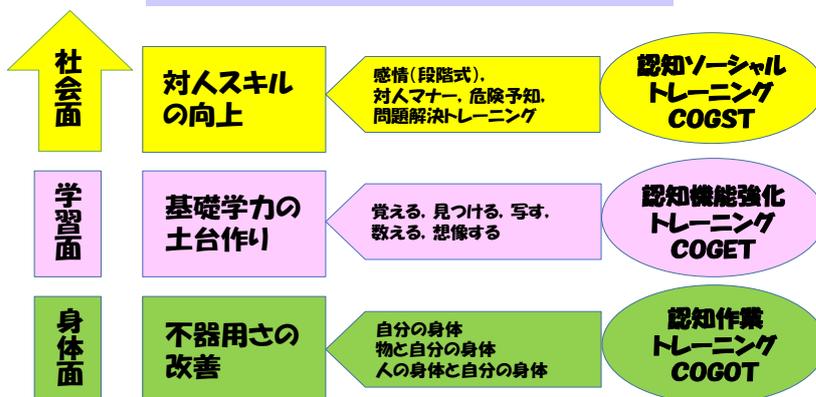
少年院に入院してきた在院者が非行や犯罪に至った背景は様々ですが、彼らは概して勉強が得意とは言えず、その上、対人関係の基本が分からない、身体が不器用であるといった生きにくさを抱えています。

愛光女子学園でも多くの在院者に共通する特徴として、見る力、聞く力、想像する力が弱いために学習につまずいたり、状況が読み取れず対人関係に失敗したり、身体や手先の不器用さから周囲とうまくなじめず自信を失っていたりといった課題があり、

そのことが非行の一因にもなっていると考えられることから、在院者の「認知力」、「対人力」、「身体力」を高める必要がある

として、元々は他の少年院で開発されたプログラムである「コグトレ」を指導に取り入れています。

### ◆コグトレプログラムの構成◆

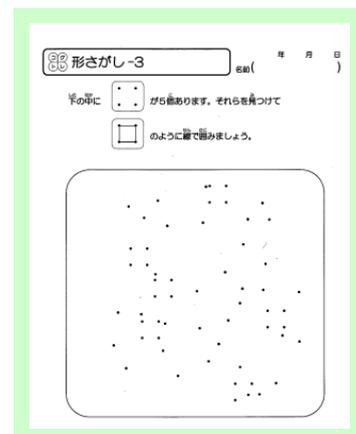
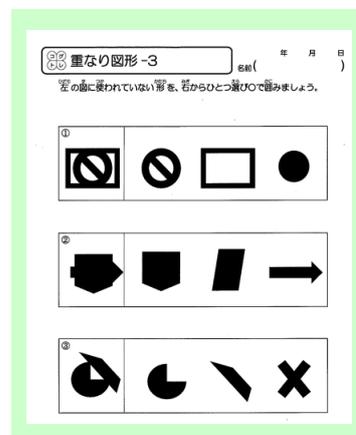
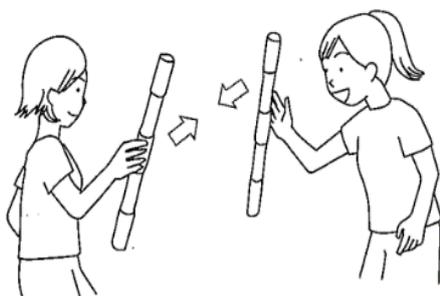


## コグトレの実践とその効果

コグトレは、在院者の課題を社会面、学習面、身体面の三つの観点から包括的に支援していく内容となっており、愛光女子学園では、週に4日、朝の授業前の10分程度の時間にワークシートを用いて認知機能を強化するためのトレーニングを行っているほか、対人マナーや感情統制力などを養う認知ソーシャルトレーニングの授業、体育の時間には「コ

グトレ棒」という新聞紙を巻いて作った棒を活用するなどして物や身体をコントロールする力の向上を図る認知作業トレーニングに取り組んでいます。

コグトレは、継続的にトレーニングを行うことで効果が表れてくるものですが、在院者が他者の話を聞けるようになったり、自分のこだわりを押し付けることなく、指示を聞いて動くことができるようになってきたりするなど、在院者の機能が向上していると感じています。



認知機能強化トレーニングのワークシート





雲がたなびく空と愛光女子学園

関東矯正管区管内少年矯正広報紙 SCIO（スキオ）

第89号 令和7年6月発行

編集責任者 関東矯正管区少年矯正部長 川島敦子

編集・印刷 愛光女子学園

〒 201-0001

東京都狛江市西野川3-14-26

電話 03-3480-2178

「SCIO」(スキオ)とは、ラテン語で、「知る」という意味です。それは矯正教育の目標でもある、次の四つの英単語の頭文字の組合せから成る言葉でもあります。

Socialization (社会化)

Correction (矯正)

Independence (自立)

Orientation (方向付け)

次号は令和7年10月、茨城農芸学院、甲府少年鑑別所を担当庁として刊行の予定です。